



喜びの輪を広げよう 27



サッカー指導を楽しめてる？ (サッカー新入社員スタッフより)



親子サッカーのイベントを通して、年少さん 3 名入会してくれました。仲間が増え、これから楽しくなるぞ！と思った矢先、私が置いたマーカークーンは指導が始まる前には散らかり放題、指導が始まってもしどろしどろ…それでもくじけずに練習を始めようと「集合っ」と声をかけても「...」というような感じでした。

「サッカー指導を楽しめてる？」先輩の問いに、言うことも聞かない、思い通りにいかない、どう楽しんだらいいんだろう。そんな気持ちでした。

次の指導では、考えられるイレギュラーを自分が思いつく限り挙げ、どう対応したら楽しいかな。と考えてから指導に向かいました。しかし、子どもたちは自由奔放にはしゃぎまわります。そこで私も楽しんでしまえ！と思い、たくさん走り回る子どもたちを追いかけ、捕まえ、ロケットをしたり逆に逃げてみたり、ひたすら遊びました。すると、不思議と子どもたちの視線が私に集まるようになり、話も聞いてくれるようになりました。

まずは私が子どもたちと一緒に楽しみ信頼関係を築いていくことが何より大切だと感じました。

まだまだ指導では上手く行かないことばかりですが、毎週子どもたちに会える、一緒にサッカーで遊べることを楽しみに思えるようになり、ようやくサッカーらしくなってきた子どもたちの姿を見て、保護者の方と一緒に喜んで喜びました。サッカーで悔し泣きをする子どもでできて成長を感じました。

これからも子どもたちと楽しく動く、イレギュラーすらも楽しむ。を心がけて指導していきます。





挨拶や人間性、良いチームですよ。 (サッカー経験社員スタッフより)

サッカー3年招待大会が開催され、見事優勝をしてくださいました。

大会主催者の監督から連絡が入り、背番号4の子が負けたチームの子に『コスモは決勝で頑張るから次の試合負けずに頑張る言葉を掛けていました。チームとしての挨拶や人間性、良いチームですよ。』とありがたいお言葉いただきました。

年少からコスモの子供像になるようかみ砕いて伝えていきます。指導の中で子供達にどんどん伝えることで私が意識している子供主体の指導になってきています。サッカーで教えるという部分がどれだけ必要かを全クラブ員+保護者にも徹底しよりよいコスモサッカー指導を築いていきます。



「転んだら自分の力で起き上がる」

(サッカー経験社員スタッフより)

コスモ教育「転んだら自分の力で起き上がる。」私はクラブでよく伝えます。

サッカーはチームスポーツなので仲間が助けるということがあります。私が意識している子供主体(子供同士で考えて行動)といったところで鬼ごっこ中に転んだ男の子がいました。当然のごとくみんな心配の声はかけますが起こしたりはしません。自分で起き上がり休憩に入ると、〇〇君が自分の水筒を取りに行くと思いきや、転んだ子の水筒を取ってきて本人に渡し、声をかけていました。1年生です。私は嬉しくなり全員の前で誉めました!!!

お母様にも伝えると『帰りながら〇〇にも聞いてみます。ありがとうございます。』と笑顔でした。その後お母様から連絡をいただき…実は学校でも自分の意見を通すことが多くて友達と衝突することが多かった。ですがコスモサッカーでの仲間の大切さなどを学び友達を気遣える事が出来るようになっていくことが何より嬉しい!

コスモサッカーの目的にもある 保護者の願い=子供の成長 伝えていきます





お父さんの写真に報告

(サッカー経験社員スタッフより)



5年生の〇〇くんは3級の盾を渡しました。

5年前に私が転勤して初めての〇〇くんとクラブの時、いきなり欠席、終了後にお母さんと目を腫らしながらクラブに来ました。『先日、父が急病で亡くなり、クラブに行きたくないと行って今日休みました』と…もうサッカーも辞めたい…出会った最初にいきなりかと私もどう声をかけたかあまり覚えていませんが…気持ちが整理できたらまたサッカーやろうと声をかけたと思います。

それから月日は流れて、本人のモチベーションは紆余曲折で…何度も心が折れそうになりながらもクラブを続けてくれました。そして今日晴れて3級の盾を渡すことができました。

お母さんは仕事でお迎えに来られていないので、口数の少ない〇〇くんは帰ってからお母さんに報告するよう伝えて帰宅させました。

お母さんに電話で。〇〇くんから報告ありましたか？と聞くと、お母さんが泣きながら『先生、帰ってきたら私よりも先にお父さんの写真の前で3級の盾を嬉しそうに見せて報告していました』と、コスモのサッカーを辞めなくて本当に良かったと喜んでくださいました。きっと天国にいるお父さんも喜んでくれています。

